ISSN 1882-871X
QBS Kyushu University Business School NEWS LETTER
九州大学ビジネス・スクール／ニュースレター
Vol.3
2008.8

TOPICS

アントレプレナーシップ・シンポジウム Vision of Entrepreneurial Success ～世界を目指す起業家を九州から～開催

設立から6年目のQBSからは、早くも様々な分野で修了生の活躍が見られます。

アントレプレナー達の活躍もそのひとつです。修了生や現役生による起業は、すでに10数社あり、その活動がメディアなどでもしばしば取り上げられています。

このたび、九州大学を卒業の後、アメリカの大学院で勉強され、シリコンバレイで創業されたIT企業で大成功をおさめられたロバート・ファン氏（SYNNEX Corp. CEO）より、QBSおよび九大発のアントレプレナーをサポートすべく、多額のご寄付をいただくことになりました。これからのアントレプレナー支援の始まりにあたり、8月2日（土）には、「Vision of Entrepreneurial Success ～世界を目指す起業家を九州から～」というタイトルで、西日本新聞会館の福岡国際ホールにおいて、シンポジウムを行いました。

MBAでありアントレプレナーの先輩であるロバート・ファン氏と日本を代表するアントレプレナーである前刀禎明氏（㈱リアルディア代表取締役）をお迎えして、QBSの起業家たちと共に、世界を目指す起業家が次々に九州から誕生することを期待しながら、アントレプレナー育成の環境や起業の思いなどについてお話をお聞きしました。

当日会場は、講演者の熱いメッセージを受けとめようとつめかけた200人近い参加者の熱気につつまれていました。

このシンポジウムは、九州大学ビジネス・スクールと九州大学知的財産本部の主催、九州経済産業局とQBS同窓会の後援で開催されました。

QBS大学説明会・オープンキャンパス開催

QBS7期生(ビジネス・スクール2009年度4月入学生)のための大学説明会・オープンキャンパスの日程が決まりました。

■大学説明会

日　時：2008年8月29日(金) 18：30～21：00
場　所：アクロス福岡・円形ホール
（福岡市中央区天神1-1-1）

■オープンキャンパス
（模擬講義・修了生/在校生経験談・質疑応答）

日　時：2008年9月27日(土) 19：00～21：00
場　所：九州大学箱崎文系キャンパス・経済学部棟209教室
（福岡市東区箱崎6-19-1）

参加ご希望の方は、氏名（フリガナ）・連絡先（自宅または勤務先住所）・郵便番号・電話番号・メールアドレスを記入の上、ビジネス・スクール事務室宛にE-MailまたはFAXでお申し込みください。

ビジネス・スクール事務室
E-mail：bs@en.kyushu-u.ac.jp
FAX：092-642-4336

修了生経験談

QBS7期生（ビジネ・ススクール2009年度4月入学生）募集のお知らせ

募集人員／45名
出願期間／2008年10月7日（火）～10月14日（火）
選抜方法／
・第一次試験　書類審査
・第二次試験　口頭試問ほか
2008年11月8日（土）～9日（日）

【入学試験に関するお問い合わせ先】
九州大学貝塚地区事務部　教務課専門職大学院係
ホームページ：http://qbs.kyushu-u.ac.jp/
TEL：092−642−4167
E−mail：kakprofession@jimu.kyushu-u.ac.jp

TOPICS

QBSの交換留学制度

QBSでは、大学間の協定に基づいてアジアの提携校との交換留学制度を2006年度から実施しております。この制度では、QBSの学生、アジア提携校の学生のいずれも、入学後1年目は母校でビジネスの基礎を学び、2年目の半年間を利用して、提携先ビジネス・スクールに留学するものです。QBSからの学生は、2月から7月の半年間をアジアの留学先で過ごすことになります。アジア提携校からの学生は、9月から2月までの半年間をQBSで過ごします。

9月末にはこの制度を利用して、QBSへ12人の留学生がやってきます。

中国の東北大学、大連理工大学、東北財経大学、南京大学、上海交通大学と今年はタイのチュラロンコン大学とタマサート大学からも参加することになりました。

大坪さんはこの制度で上海交通大学へ留学しました。

5期生 大坪俊宏さん 上海交通大学体験記

私はQBSの交換留学制度を利用して今年の2月から7月まで中国の上海交通大学ビジネス・スクールInternational MBAコースに留学しました。

このコースの授業はディスカッションやプレゼンテーションを主体とした欧米風のスタイルで、総て英語で行われます。今年のクラスは、学生が総数三十数名でそのうち約半分が中国人を主とした本科生、残りの約半分がヨーロッパの各ビジネス・スクールからの交換留学生そして日本人1人（私）という構成で、教室はまさにインターナショナルな雰囲気であふれていました。授業はなかなか大変でしたが、異なる国や文化の人たちと意見や考え方を交換することで、いろいろな角度から物事を考えることができる力が養われたと思います。そしてクラスの内外で友人ができたことも大きな収穫でした。

私が5ヶ月間滞在した上海は人口約1800万人で、成長を続けている中国のコマーシャルセンターです。この活力に満ちた都市で一定期間生活したことでまた、勉学以外でも多くのことを得ることができたと思います。

交換留学制度はQBSで学びながら、各国の学生と欧米スタイルの授業も受けられ、且つ海外での生活を通してグローバルな視点が養えるすばらしい制度だと思います。みなさんも是非この交換留学制度の活用をご検討されてはいかがでしょうか。

後列右から二人目、大坪さん

上海交通大学前にて

アジア提携校との学生交流

QBSではこのほか、原則として年に2回、夏休みと春休みを利用して、アジア提携校の学生や教員との共催で学生交流（スタディ・ツアー）を実施しています。学生が中心になって企画・運営し、QBSの学生と提携校の学生が事前に設定した共通のテーマに関するプレゼンテーションを行い、それに基づきディスカッションを行います。その他、各々ビジネス・スクールの教員による講義やセミナー、訪問先地域に立地する企業の訪問等を実施しています。

この夏は8月21日から3泊4日で、タイのチュラロンコン大学とタマサート大学、企業を訪問しました。 次号で、その成果をご紹介できると思います。

QBS学生会

QBS学生会はQBS在校生のビジネス・スクール生活をより有意義なものにするため、相互の親睦を深め、各々の学業、ビジネスの研鑽を進めるべく環境整備を行うことを目標に設立された学生主体による組織です。

現在は会長以下、副会長、役員総勢16名のメンバーにて、月1回の定例ミーティングを中心に、勉強会・懇親会の開催や、学内各種イベントの活動補助、アジアを中心とした他大学との交流企画などを主な活動としております。また、昨年度より新たな取組みとしてK2BS（北九州大学ビジネススクール）との交流活動の企画や、学生ボランティアによる学内清掃活動などを実施し、在校生の有意義な学生生活をバックアップすべく積極的に活動の範囲を広げています。

今後もQBS教員や修了生ネットワーク、国内外の他ビジネス・スクールとの連携・協力体制を更に強化しながら、QBS在校生の活動支援やQBSブランドの価値向上に向けた情報発信を行っていきたいと考えています。

QBS学生会主催によるバーベキュー

ラウンドテーブル・ミーティング

TOPICS

九州大学専門職大学院コンソーシアム・レクチャーシリーズ

専門職大学院コンソーシアムは、学内にある医療経営管理学、法科大学院、実践臨床心理学とQBSの4つの専門職大学院が、相互の関係を密にしながら、研究や教育においてさまざまなシナジー効果を求めて、2006年5月に設立しました。

企業の社会的責任

コンソーシアムのプログラムのひとつが、3か月ごとに開催するレクチャー・シリーズです。社会的な事象にたいして、4校の内の2校がセミナーを担当し、異なる視点で課題を分析し、わかりやすく解説することを目的としています。学内だけでなく広く市民に開放されています。

5月25日（日）午後に、九州大学医学部百年講堂中ホールで開催された第8回のレクチャー・シリーズでは、「企業の社会的責任」というテーマで、法科大学院院長の西山芳喜教授とQBSの中村裕昭教授のお二人により、企業の責任について法的側面と倫理的側面でレクチャーをいただきました。シリーズの9回目は、9月15日（月・祝）に、医療経営管理学とQBSによって、ケース・メソッドのセミナーを開催の予定です。

平成20年度新科目の充実

平成20年度は、QBSとしては初めての外部からの寄附講義を含めて、新しい講義が加わりました。

■「マネジメント演習1」（前期開講）

中小企業基盤整備機構の提供による講義。中堅・中小企業の意思決定について、フューチャーアーキテクト、ふくや、やずやなど6社の経営者をまじえ、組織・人材・技術などの視点で、ディスカッションをしていただきました。コーディネーターは五十嵐伸吾 准教授。

■「資産運用とリスク管理」（前期開講）

日興コーディアル証券による寄付講義であり、資産運用とリスク管理において実務経験の豊かな古川誠志氏により、株式・債券・投資信託などの解説やファイナンシャル・リスクのヘッジに関するデリバティブなどによる具体的な手法をご講義いただきました。

■「製品開発マネジメント」（前期夏季集中講義）

2003年のQBS設立時の教授で、その後米国GMのReliability Durability Strategyを担当されたエグゼクティブ・ディレクター吉村達彦 客員教授（元トヨタ車両部長）による講義です。現在も韓国現代自動車のコンサルタントをされており、日米の製品開発の手法の違いや開発プロセスの問題解決など、MOTの最前線のご経験をもとに講義していただきました。

QBS教員 大連理工大学管理学院『国際学術交流週間』で特別講義

高田仁准教授は、九州大学ビジネス・スクール提携校の一つ、大連理工大学管理学院（中国大連市）の国際学術交流週間に招かれ、6月23日の開会式に参列。

開会式には、国際学術交流にふさわしく、地元中国からはもちろん、ドイツのミュンスター大学、フランスのビジネス・スクールESCクレアモント、スイスのチューリッヒ応用科学大学、アメリカのウエブスター大学、そして日本からは九州大学ビジネス・スクール、慶応義塾大学などからの学者が参列し、交流週間期間中には特別講義を行いました。

QBSの高田准教授は『ケース分析～バイオ/製薬業界における大学発ベンチャーの成功要因について～』講義し、大連理工大学管理学院の教員、学生とも意見交換などを通して交流活動を深めました。

＊大連理工大学管理学院（遼寧省大連市）とQBSとは2007年10月に部局間交流協定を結びました。大連理工大学管理学院はMOTに強い大連のトップ大学で、QBSのMOTとの間で共同研究や、ケース交換の可能性を追求していきたいと考えています。

学生紹介

修了生
坂根 毅さん（3期生）
妻：旧姓
金 愛子さん（3期生）
長女：里桜（りお）ちゃん
所属　株式会社ユーテラス

2006年10月、QBS在学中に九州大学の所有する特許技術をベースとするITベンチャー企業を立ち上げました。私自身は機械系の出身で全くIT系の知識が無かったのですが、QBSで学んだことを活かしてチャレンジしたいと思っていたときに、九州大学で働くQBSの仲間から紹介されたことが起業のきっかけでした。

会社の設立は簡単だけど、経営は難しい。QBSで学んだことだけでは容易に解決・判断できない問題が次々と発生します。会社経営のことで悩んだ際にいつも相談に乗ってもらうのは、QBSで共に学んだ仲間。起業のきっかけもQBSの仲間による紹介でしたが、起業後も、色々な分野で活躍するQBSの仲間に相談できるということが大きな力になっています。

特に、会社経営で一番大変なのは、社長である自分自身の精神的な葛藤。QBSで知り合い、在学中に結婚したQBS同期の妻にはいつも背中を押してもらっています。

今はまだ、QBSで学んだことが役に立たない位に小さな会社ですが、一発当てるつもりで、少しリスクの高いチャレンジを続けていきます。

修了生
寺田 俊章さん（3期生）
妻：
志摩 沙織さん（3期生）
長男：治憲ちゃん
所属　コカ・コーラウエストホールディングス株式会社

QBSに在学した2年間は仕事と学業に追われて大変な毎日でしたが、終わってみると懐かしく、在学生の皆様を少し羨ましく思います。QBSでは沢山の事を学びますが、大半の事は忘れてしまいます。僅かに自分の中に残るのは、妥協せずに取り組んだ講義だけである、ということを今更ながら痛感しております。

在学中はICABE担当として3度の訪中を経験し、プロジェクト論文では当時銀行業務で携わっていたM&Aによる事業承継について研究するなど、充実した学生生活を送らせていただきました。

同じクラス、同じゼミという縁で知り合った3期生の志摩沙織と昨年2月に結婚し、大勢のQBS関係者の皆様に祝福していただきました。今年2月には長男の治憲が誕生し、新しい家族を迎えた生活が始まっています。

また、私個人としては、長男の誕生とほぼ時を同じくして現在の勤務先へ転職し、グループ再編の事務局としての仕事や、新商品の投入に向けたSCMの構築といった仕事に従事しております。QBSで学んだ企業戦略や経営管理論等をどのように実務にフィードバックさせていくか、日々模索を重ねています。

卒業生が蓄積されていくことでQBSのネットワークが広がり、学業を通じて知り合った皆様と今度は実務で協力し合えるようになる日を楽しみにしています。

メディアに紹介されたQBS修了生・在校生

■二足歩行ロボット型景品獲得ゲーム機「ロボキャッチャー」
台湾電子ゲーム機国際見本市で注目される　永里壮一さん（4期生）
西日本新聞2008年5月9日

■変革期の大学発ベンチャー日本型確立へ―先進大学の支援策　坂本　剛　さん（4期生）
日刊工業新聞2008年6月17日

■福岡空港問題　河原繁憲さん（3期生）　ふくおか経済　2008年6月号

■九州大学ビジネス・スクール　大連で入試　西日本新聞　2008年6月21日

■中国人IT技術者派遣　若杉誠司さん（4期生）　西日本新聞　2008年8月1日

QBS生まれの有田焼焼酎『八起』のボトルデザイン ニューヨーク・アートディレクターズクラブのパッケージデザイン部門金賞受賞

ニューズレター第1号でもご紹介をしました実家が有田焼窯元のQBS2期生久保田氏の卒業論文がルーツである有田焼ボトルの芋焼酎『八起』が権威と歴史のあるニューヨークアートディレクターズクラブ、パッケージデザイン部門金賞を受賞しました。

ロンドンインターナショナルアワード銀賞、ドイツのレッドドット賞、日本のグッドデザイン賞、福岡産業デザイン優秀賞に次ぐ快挙です。

NYADCのホームページをみるとパッケージ部門の銀賞は、あのAppleのiPhoneです。

http://www.adcglobal.org/archive/annual/?year=10

クライアント／㈱ルネサンス・プロジェクト　デザイン／㈱電通九州 伊藤敬生
プロデューサー／（株）電通九州 金子信二（QBS2期生）

MOT & MBA Ratings

九州大学ビジネス・スクールは国際戦略デザイン研究所が提供するMOT・MBA大学院情報＆格付けサイトの2008年ランキングで1位になりました。詳しいことは下記サイトをご参照ください。

http://www.isd-r.com/mot/rank/motmba.cgi

QANだより

第3回定期総会開催される

QANは「QBS Alumni Network」の略で、QBSを修了した卒業生（アラムナイ）のネットワークです。メンバー相互の親睦および研鑽、QBSとの連携ならびに関連諸機関との交流・情報交換を促進することを目的とし、設立されました。今年3月には4期生が修了し、現在120名規模の組織になっています。

QANのメンバーは、QBSで学んだ知識をベースに、企業のトップマネジメント層、経営専門家、研究開発部門、行政機関、ベンチャー企業の経営者など様々な分野で活躍しています。

QANでは、多様な人材による有機的なネットワークを活かし、QBSの教員・現役学生と連携・協力体制をとりながら、アラムナイの活動の支援や情報発信に取り組んで行きたいと考えています。

7月19日には、九州大学箱崎キャンパス内ファカルティクラブにおいて第3回定期総会を開催しました。

今年度からは、新たな取り組みとしてQAN主催のセミナーの開催、QBS主催のアントレプレナーシップ・シンポジウムの後援などを行い、QANのブランド価値向上のために活動していく所存です。今後とも、QANの活動にご支援賜りますようよろしくお願いします。

【QAN公式サイト】http://qan.en.kyushu-u.ac.jp/

編集後記

異常な天候の今年の夏でした。みなさまお元気にお過ごしでしょうか、お伺いいたします。

さて、今回のニューズレターは、10月の来年度学生募集を前に、QBSを知っていただくための編集内容といたしました。記事を寄せていただく中で、QBSの学生、修了生が本当に多彩な分野で仕事をしていると実感し、また触発されること多々です。それでもまだ十分にはみなさまの活躍ぶりをご紹介できていないと思います。自薦・他薦を問わず情報の提供はありがたいです。また、QBSの先生方の活躍ぶりも今後、もっとお知らせできればと考えています。（花田早苗）

●九州大学ビジネス・スクールに関するお問い合わせ：
812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1　貝塚地区事務部教務課専門職大学院係　TEL：092-642-4167
URL：http://qbs.kyushu-u.ac.jp

学生紹介

在校生
村田 素子さん（5期生）
所属
国際輸送会社

外資系国際輸送会社の福岡営業所立ち上げとして配属されて3年、営業所のマネジメントという課題に悩んでいた頃、ふと帰宅途中地下鉄の中で見上げたところQBSの広告を発見しました。それからが私のQBS生活の始まりでした。

授業で得られる知識により、点と点が線へと変わり始めようとしているのを実感している毎日です。また異なったフィールドで働く学生と接することにより、狭かった自分の視野が広がり、刺激的で且つ興味深い学生生活を送っております。知識と人とのつながりは何よりも宝ものだと信じています。常に新しい学びがあり、発見があり、人との出会いがあるQBSは私の宝箱です。

現在はゼミを中心に専門分野であるロジスティックスのブラッシュアップに努めており、日々の業務に生かせられるよう励んでおります。残り半年となったQBS生活を十分に楽しんで、出来るだけ多くの事を学びたいと思います。

在校生
張 碩秋さん（5期生）

私が中国の杭州市から参りました張碩秋です。2007年4月に、福井県立大学学部を卒業してすぐQBSに入学し、社会人の皆様と一緒に勉強を始めました。基礎科目を含め、授業で皆様の実務経験の話もよく聞かせていただきながら、ケーススタディ等で理論を勉強したり、各人の意見の交換や議論をしたりして、大変勉強となりました。また、日産プログラムの参加等も含め、実社会でいままで学んだ知識を皆様と一緒に活用したり、ビジネス調査を行ったりなどの一連のプロセスを経て、最後の発表までうまく完成させて、とても良い応用体験ができました。そして、去年夏に、学部や学院の学生たちと一緒に、米国へ短期留学し、英語はもちろん、さまざまな体験をさせていただきました。まだ学生ですから、これから残る半年間にも卒論はもちろん、先輩たちのように、よりよく社会に向けての知識応用や実務経験等も積んでいきたいと思います。

編集発行　九州大学ビジネス・スクール
担　　当　QBS事務室
住　　所　〒812-8581
　　福岡市東区箱崎6-19-1
電　　話　092-642-4278
E-mail：bs@en.kyushu-u.ac.jp